

# FM TOWNSひとくちアドバイス

## 第7号

[隔週金曜日発行]

### ■ Q&Aコーナー

Q: HighCでプログラミングを始めたばかりですが、EGBで文字を表示したりスプライトを使ったプログラミングの方法がよくわかりません。サンプルプログラムはHighC V1.4 L20には付属されていないのでしょうか?

A: HighC V1.4 L20では有用なサンプルプログラム集を添付したため、初心者の方のプログラミングが容易になっています。サンプルプログラム集はHighCのフロッピ内の"SAMPLES"ディレクトリにあります。ご要望のEGBのサンプルプログラムは"¥SAMPLE¥ITEM"ディレクトリの中のソースにあります。

Q: FM TOWNSシステムソフト V1.1 L30の"TownsgEARトレーニングガイド"の中のサンプルノートとして収録されている「アドレス帳」について、マニュアルに記載されている「自動ダイヤル機能」が機能しません。モデムは外付けモデムを使用しています。

A: 「アドレス帳」は内蔵モデムにてご利用いただくようになっております。外部モデムでは「自動ダイヤル機能」は使えないためご注意ください。

Q: F-BASIC386でプログラムを作っています。現在使っているF-BASIC386はインタプリタの為作成したアプリケーションを動作させる場合、F-BASIC386エディタを起動しプログラムロードを行わなければならない面倒です。TownsmENUから任意のアプリケーションを直接起動する方法を教えてください。

A: F-BASIC386のアプリケーションを直接起動する場合は以下の4つの方法があります。4種類の操作環境を実際に試しながら、皆さんで使い分けをしてみてください。

- I TownsmENUのアイコンモードでの選択による直接起動 (アイテム登録)
- II TownsmENUのファイル表示モードでの直接起動 (TMENU. I F 2の登録)
- III BATファイルによる起動 (BATファイル作成)
- IV EXPファイルでの起動 (コンパイラにより実行形式 [EXP] にする)

F-BASIC386のメインプログラムであるFB386. EXPは、起動パラメータによってF-BASIC386の起動と同時に任意のアプリケーションプログラムをロードし実行する機能があります。これは下表に説明する記述方法で指定します。この直接起動を行うパラメータを基本にして、上記した四種類の方法を実現します。

#### 【FB386. EXPの起動パラメータ】

```
┌ F-BASIC386起動コマンド
└ RUN386 FB386. EXP -X ???????. BAS
                               ↑
                               F-BASIC386の起動と同時に
                               実行するアプリケーションプログラム名
```

☆Iの場合☆FB386. EXPをアイテム登録し、パラメータを「-X ???????.BAS」とします。

☆IIの場合☆テキストエディタによってTMENU. I F 2のデータに以下の一行を追加します。

```
BAS, 00, 22, FB386. EXP -X
```

※FB386. EXP はフルパスで指定します。

この設定を行うと、拡張子がBASとなっているファイル全てに有効です。よって拡張子がBASとなっていればTownsmENUからクリックすることで直接実行ができます。

☆IIIの場合☆【FB386. EXPの起動パラメータ】をBATファイルで登録します。

☆IVの場合☆F-BASIC386コンパイラによって、プログラムをEXPファイルにします。